

視文協 令和7年度 第3回福祉セミナー

東京・大阪リモート
トークセッション

「東日本大震災」体験者から学ぶ

視覚障害者が未曾有の災害から
どのように命や暮らしを守ったか？

どなたでも
無料
聴眼者の方も大歓迎

1月27日(火) 13時から15時(受付12時30分)

会場／視覚障害者文化振興協会 セミナールーム
大阪市福島区福島7-17-9 大包ビル4F

東京からリモートでご講演いただきます

講師

東日本大震災体験者(視覚障害当事者)

佐々木芳子(ささき よしこ)さん

東日本大震災の津波で自宅を流された佐々木さんは、避難所から仮設住宅、そして災害復興住宅での暮らしを経験されました。

今回は、司会の問いかけをきっかけに、震災前の備え、想像を超える震災当日のこと、普段からの準備や言い伝えが命を守った避難行動、そして被災後の生活の中で感じたことについて、ご自身の体験をもとにお話しいただきます。その内容を受けて、視覚障害当事者である竹田幸代さんが、当事者の視点から思いや気づきを重ねます。

他人事ではなく、私たち一人ひとりの暮らしに引き寄せ、日常の中での防災を考えるきっかけにしていいただければと思います。



佐々木芳子さん

岩手県釜石市出身。北日本銀行釜石支店勤務。釜石郵便局労働組合初期を経験。被災後、上中島仮設住宅自治会副会長補佐。その後、ご夫婦で東京に引っ越し、現在に至る。震災の体験を自らの言葉で伝える活動を続けておられます。

東京・大阪をリモートで結ぶ「トークセッション形式」で行ないます
聞き手／竹田幸代(視覚障害当事者) 進行／瀧井今日子(視文協)

13:05～13:35 第1部「震災前と当日のこと」

13:45～14:15 第2部「避難所から復興住宅へ、くらしの変化」

14:25 質疑応答

15:00 終了・次回のご案内

※適宜、休憩をはさみます

「セミナー」の内容は
後日、

JBS日本福祉放送
でもお聴きいただけます

放送日時につきましては、
JBS日本福祉放送の
ホームページで
ご確認ください。



主催／社会福祉法人 視覚障害者文化振興協会

お申し込み・ご質問・お問い合わせ

電話 06-6459-7240 ファックス 06-6459-7241

メール studio@jbs.or.jp ※件名に「福祉セミナー」とご入力ください

ホームページ



本セミナーは、「公益財団法人 清水基金 様」からのご助成により開催いたします